PRESS RELEASE

2026年11月11日
リノベる株式会社

報道関係者各位

『ポストモダンの椅子30脚展』を11/27(金)より開催

磯崎新、内田繁、フィリップ･スタルクら国内外の名作椅子を展示
11/27(金)～29(日)は「骨董通りの蚤の市」や椅子の張り替え実演も

イベントURL：https://note.renoveru.co.jp/n/n23bb42d20c63

不動産ストックの流通・利活用を推進するリノベーションプラットフォーム運営のリノベる株式会社（本社：東京都港区、代表取締役CEO兼ファウンダー：山下 智弘、以下 リノベる）は、輸入家具の販売・店舗設計デザイン・空間スタイリングを行う株式会社イニシャルジャパンと、11/27(金)～12/6(日)にリノベる表参道オフィスにて『ポストモダンの椅子30脚展』を開催します。1980年代を中心に、ポストモダンを代表する建築家・デザイナーの作品から、その後のミニマリズムへの展開までをたどる国内外の椅子約30脚を展示販売します。また、展示に合わせ、11/27(金)・28(土)・29(日)の3日間は、ヴィンテージ雑貨やインテリアを販売する『骨董通りの蚤の市』を開催します。



【開催背景：時を経て、再び注目されるポストモダンの椅子】

ポストモダンは、機能性と合理性を重視するモダニズムへの問いかけから生まれ、自由な造形や色彩、遊び心を取り入れたデザインの潮流です。日本でも建築家の磯崎新、デザイナーの内田繁、北岡節男らが、時代を象徴する作品を残しました。既成概念にとらわれないその姿勢は現代のデザインにも受け継がれ、近年は国内の美術館で捉え直す展覧会が開かれるなど、改めて注目を集めています。

本展では、アヴァンギャルドで彫刻的な存在感を放つ作品から日常に取り入れやすいプロダクトまで、1990年代以降のミニマリズムへの展開も含めて紹介します。一見無駄にも思える装飾や造形にこそ宿る、ものづくりの自由さと楽しさに、実際に触れられる機会を提供します。

【『ポストモダンの椅子30脚展』概要】

・開催日時：2026/11/27(金)～12/6(日)
(27･金)14:00～20:00※最終入館19:30／(土日)11:00～16:00※最終入館15:30
※11/27(金)以外の平日はアポイント制です。ご希望の方は下記連絡先までお電話ください。
お問い合わせ：イニシャルジャパン（担当：志摩、横山）／03-6807-0554
・場所：リノベる表参道オフィス B1「b1.／ビーワン。」（東京都港区南青山5丁目4-35 たつむら青山ビル B1）
・入場：無料・予約不要
・企画協力：Archéologie Studio（イニシャルジャパン）
・参加店舗：Archeologie Studio（東京）、SANDS furniture（東京）、UNDERGROUND（群馬）、他個人収蔵品など
・作品リスト：https://note.renoveru.co.jp/n/n10ca8f6a1412

＜本リリースに関するお問い合わせ＞
リノベる株式会社　担当：吉村・木内　TEL：03-5766-2592　E-mail：pr@renoveru.jp

PRESS RELEASE

【展示品例】



C-022 Armchair（1986）
Shigeru Uchida（内田繁）
代表作「October」の脚を丸脚にし、さらに変形させたモデルで、大変貴重な一脚。



Monroe Chair（1973）
Arata Isozaki（磯崎新）
極端なハイバックと、女優マリリン・モンローのボディラインを参考にした側面の曲線は、デザイン史の名作に数えられる一脚。



Von Vogelsang Arm Chair（1985）
Philippe Starck(フィリップ·スタルク)
Driade製。クロームメッキのパイプとパンチングメタルによるグラフィカルな造形で、MoMAなど世界各地の美術館で展示。



Side Chair（1983）
Setsuo Kitaoka（北岡節男）
線と面によるグラフィカルな構成を立体にし、椅子を極限まで純粋化・単純化した一脚。



Bouquet Decorative Chair（2007）
Tokujin Yoshioka（吉岡徳仁）
Moroso製。約12mの人工皮革を小片にカットし、職人が1枚ずつ縫い付けて花束を表現。



MARUMARU（2000s）
Kazuyo Sejima（妹島和世）
建築家・妹島和世がdriadeのためにデザイン。ドーナツ状のクッションと細いスチール脚による、スツール兼ソファ。

【同時開催】

■骨董通りの蚤の市



リノベる表参道オフィスのエントランスに、ヴィンテージ雑貨などを販売する蚤の市を開き、コーヒーや軽食を楽しめるカフェスペースも併設します。サステナブルな消費を考える日「グリーンフライデー」に合わせ、金曜日の14時より開催します。

・日時：2026/11/27(金)・28(土)・29(日)
　　(金)14:00〜20:00／(土日)11:00〜16:00
・場所：リノベる表参道オフィス エントランス
・来場：無料・予約不要
・出店予定：SANDS furniture、kaya select、graines tanzawa、
　　おそまつ商店、Saten Proust、TONA CHOCOLATE、soko、önra　など

■椅子の生地張り替えエキシビション

工房で椅子の張替え等を手掛けるFUJITAKE WORKSの職人による実演エキシビションを、蚤の市の開催期間中、会場エントランスで行います。使い込まれた椅子の魅力を活かし、新たな表情と心地よさを添える手仕事を間近でご覧いただけます。ご希望の方は、お手持ちの椅子の張り替えもご依頼いただけます。

・協力：FUJITAKE WORKS｜https://fujitakeworks.jp/

■「ACTUS(アクタス)」「SEMPRE(センプレ)」秘蔵のヴィンテージチェアを特別公開

会場では、ライフスタイルストア「ACTUS」や「SEMPRE」が所蔵する、通常は店頭に並ばないヴィンテージチェアを特別に展示します。一脚から、時を重ねるほどに深まる家具の魅力を感じていただけます。

・協力：ACTUS、SEMPRE DESIGN

＜本リリースに関するお問い合わせ＞
リノベる株式会社　担当：吉村・木内　TEL：03-5766-2592　E-mail：pr@renoveru.jp

PRESS RELEASE

■オープンショールームを開催

週末土日の2日間限定で開催される「リノベーション体感フェア」（主催：渋谷区、一般社団法人リノベーション協議会）に参画。通常は予約制の3か所のショールーム・コンセプトルームを公開します。実際にリノベーションされた一室を見学・体感いただけます。詳細は各会場の案内をご確認の上、ご自由にご来場ください。
・日時：2026/11/28(土)・29(日)10:00〜18:00
・会場：リノベる。表参道ショールーム／渋谷桜丘 The R. by RENOVERU【C1】コンセプトルーム／南青山パークマンション
・参加方法：予約不要
・詳細：https://www.renovation.or.jp/kanto/ref2026/

【インテリアプロジェクト『Re: project』とは】

本イベントは、リノベるが2023年にスタートしたインテリアプロジェクト『Re: project』（旧名称：Re:Re:Re:のRe project）の第4弾です。古い家具やプロダクトに触れる体験を通じて、モノとそこに込められた想いを次の使い手へつなぐことを目指しています。今あるものを活かし未来へ受け継ぐこの考え方は、中古マンションの価値を見つめ直すリノベるのリノベーション事業にも通じるものです。時を超えて愛されるものづくりと豊かさをお伝えします。

【会社概要：リノベる株式会社】

リノベるは、ミッション「日本の暮らしを、世界で一番、かしこく素敵に。」の実現に向け、個人・法人が保有する不動産ストックの流通・利活用を推進しながら、提供者（サプライヤー）とのマッチングを実現する統合型リノベーションプラットフォームを構築しています。

会社名：リノベる株式会社
代　表：代表取締役CEO　山下 智弘
資本金および資本準備金：679,743,341円
設　立：2010年4月
所在地：本社　東京都港区南青山5丁目4-35 たつむら青山ビル
事業内容：住宅リノベーションプラットフォーム、CREリノベーションプラットフォーム、産業支援プラットフォームからなる、統合型リノベーションプラットフォーム運営
コーポレートサイトURL：https://www.renoveru.jp/corporate/
リノベる。URL：https://www.renoveru.jp/
都市創造事業サービスサイトURL：https://renoveru.co.jp/citycreate/

【会社概要：株式会社イニシャルジャパン】

Objet d’art / Archéologie Studioなどヴィンテージ家具を扱うギャラリーを展開。主な取り扱いデザイナーは、シャルロット・ペリアン、ジャン・プルーヴェ、ピエール・ジャンヌレ、ディーター・ラムスなどのモダニズム期から戦後に活躍した国内外のデザイナーから、Ben Storms、Thomas Serruys、x+l などのコンテンポラリー作品まで扱う。

＜本リリースに関するお問い合わせ＞
リノベる株式会社　担当：吉村・木内　TEL：03-5766-2592　E-mail：pr@renoveru.jp